

平成26年4月22日（火）に、全国の小学6年生・中学3年生を対象に、学力・学習状況調査が行われました。町内のすべての小・中学校が参加しました。本調査の結果から、湯浅町における学力・学習状況の成果と課題についてまとめましたので、その概要をお知らせします。

平成26年 9月

「国語」「算数・数学」のA問題とB問題について

A問題：主として「知識」に関する問題で、基礎的・基本的な力がどれくらい身に付いているかをみる問題です。

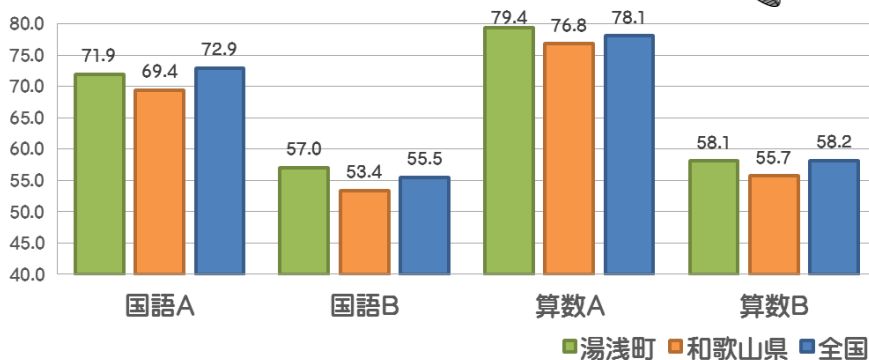
B問題：主として「活用」に関する問題で、学習した内容を実生活の中で活用する力がどれくらい身に付いているかをみる問題です。



小学6年生 「国語」「算数」の結果から

全体の傾向

全国の平均正答率と比べてほとんど差が無く、和歌山県と比べると、国語・算数すべての結果で上回っています。国語・算数ともに着実に力が身につけてきています。



「国語」について

	国語 A	国語 B
話すこと・聞くこと	◎4.1	1.9
書くこと	-1.5	1.7
読むこと	-1.2	1.4
伝統的な言語文化 国語の特質に関する事項	-1.4	◎5.7

- ◎ A問題の「話し合いの観点に基づいて情報に関係付ける」など「話すこと・聞くこと」の問題でよい結果が表れています。
- ◎ B問題の「二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える」など「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の問題でよい結果が表れています。

「算数」について

	算数 A	算数 B
数と計算	1.2	0.8
量と測定	2.1	1.1
図形	1.2	▼-7.5
数量関係	◎3.1	-1.1

3%以上高い◎ 3%以上低い▼

- ◎ A問題の「二つの数量の関係を□、△などの記号を用いて式に表すことができる」など「数量関係」の問題でよい結果が表れています。
- ▼ B問題の「示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰めることができる」など「図形」の問題に課題がみられました。

「国語」の学習指導に当たって

必要な情報を読み取り、正確に書くことに課題がみられました。どのような方法で必要な情報を収集するかといった本の活用の仕方等が身に付けられるような学習指導の充実を図ります。

「算数」の学習指導に当たって

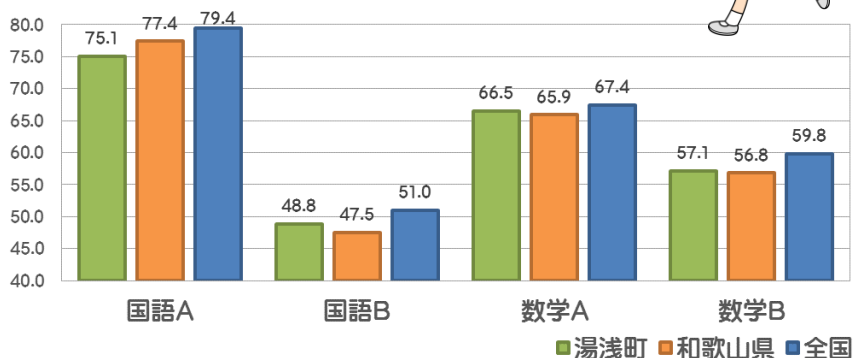
立体図形の理解に課題がみられました。立体図形の辺、面、頂点などの関係が理解できるように、見取図や展開図と関連付けて学習活動する等の指導の充実を図ります。

中学3年生 「国語」「数学」の結果から



全体の傾向

全国の平均正答率と比べて国語A・B、数学A・Bとも下回っています。また、和歌山県の平均正答率と比べると国語B、数学A・Bは上回っていますが、国語Aのみ下回っています。



「国語」について

	国語A	国語B
話すこと・聞くこと	-1.4	
書くこと	▼-3.5	0.5
読むこと	-1.9	-2.1
伝統的な言語文化 国語の特質に関する事項	▼-6.0	-0.1

◎ B問題の「資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く」など「書くこと」の問題でよい結果が表れています。

▼ A問題の「多様な方法で材料を集めながら考えをまとめる・書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す」など「書くこと」の問題や、「文脈に即して漢字を正しく書く・読む」など「国語の特質に関する事項」の問題に課題がみられます。

「国語」の学習指導に当たって

書くことや漢字の活用について課題がみられました。他教科との関連を図りつつ、伝えたい事柄を適切に表現する能力や常用漢字を正しく活用する能力が高められる指導を図ります。

「数学」について

	数学A	数学B
数と式	0.1	-0.5
図形	-1.0	-1.0
関数	▼-3.3	▼-5.4
資料の活用	1.1	▼-3.9

3%以上高い◎ 3%以上低い▼

◎ A問題の「数量の大小関係を不等式に表すことができる」など「数と計算」の問題でよい結果が表れています。

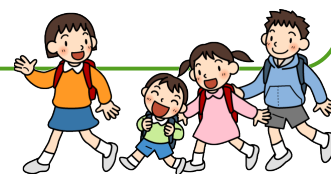
▼ B問題の「事象を理想化・単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明する」など「図形」の問題や「与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる」など「関数」の問題に課題がみられます。

「数学」の学習指導に当たって

日常的な事象を単純化して図に表す活動を取り入れ、実際のデータの特徴を分析する場面を設定し、表やグラフに表しながら問題解決できる活動を取り入れながら指導の充実を図ります。

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査について

学習意欲、学習方法、学習環境、生活等のいろいろなことをアンケート形式で答える質問です。
(例えば) 国語の授業は好きですか、授業の内容はどのくらい分かります、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況など



質問紙調査の結果から

「小学6年生」について

質問項目	湯浅町	全国	差
今住んでいる地域の行事に参加していますか	79.6	68.0	◎11.6
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	40.9	49.5	▼8.6
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか * 全くしない割合	28.6	19.3	▼9.3
普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか * 2時間以上の割合	38.8	30.3	▼8.5
家で、学校の授業の復習をしていますか	20.4	43.2	▼22.8

* 当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた割合

「中学3年生」について

質問項目	湯浅町	全国	差
自分には、よいところがあると思いますか	71.8	67.1	◎4.7
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	58.9	68.0	▼9.1
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか * 2時間以上の割合	40.3	32.7	▼7.6
同上 * 4時間以上の割合	17.7	11.0	▼6.7
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか * 2時間以上の割合	23.3	40.3	▼17.0

* 当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた割合

自主性・主体性について

「地域の行事に参加していますか」については全国平均を大きく上回っていますが、「友だちの前で自分の考えや意見を発表する」ことについては、苦手意識が高いようです。

家庭での過ごし方について

「学校の授業時間以外、読書を全くしない」や「平日、テレビゲームを2時間以上する」割合が全国平均より約9ポイント程度高くなっています。また、「家で学校の授業の復習をする」割合にいたっては、全国平均より23ポイント下回って、半分以下という状況で、家庭での学習の仕方に大きな課題が見られます。テレビゲーム等の時間の使い方を見直し、読書や予習復習等の時間を確保して、家庭学習の習慣化と学年に応じた学習の仕方を身につけ、自分の力をより高められるような過ごした方が求められています。

自主性・主体性について

「自分には、よいところがある」について、肯定的な回答をした割合が上回りました。しかし、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」については大きく下回っており、失敗を恐れず主体的に自分を伸ばそうとする意識に課題がみられます。

家庭での過ごし方について

「平日、1日当たりスマートフォン等で通話やメール、ネットをする時間」について、2時間以上、4時間以上の割合が共に全国平均より約7ポイントも上回っています。また、「休日、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」について、2時間以上と回答した割合が全国平均と比べると17ポイント以上も下回っています。スマートフォン等の使用について抜本的に見直し、家庭で過ごす時間の使い方について、高い意識を持って、改善していく必要が感じられます。